

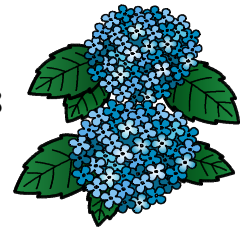


校長室通信

南小国町立南小国中学校

令和元年 6 月 8 日（金）No8

文責 狭間卓史



支える、学ぶ

5 月 26 日（日）、小国支援学校「すぎのこ運動会」が開催され、本校からボランティアとして 11 人の生徒が参加しました（引率は志賀・高宮）。

当日は五月晴れというよりも初夏を思わせるかのような晴天で気温も高い一日でしたが、本校生徒は爽やかに補助員としての役割を務めてくれました。挨拶はもちろんのこと、支援学校の先生方に道具類を渡す際に一礼する姿等、校内で日頃示してくれる姿がそこにはありました。

参加した本校生徒は、支援学校の児童・生徒が競技に熱中する姿、笑顔いっぱいに楽しむ姿に接して、感じたこと、学べたことが多々あったのではないかと思います。その場所に身を置き、その場の空気丸ごと体感することの大切さをあらためて考える機会となりました。また、小国支援学校高等部には本校卒業生が進学しています。「南小国中」の校名が入った体操服姿や、ボランティアとして走り回る後輩生徒の姿を見て、心強く思ってくれたとしたら嬉しい限りです。



交流の先に



5 月 30 日（木）と 31 日（金）に、本校の 3 年生と 1 年生が小国支援学校中等部との交流会を実施しました。その交流会の内容は各学年で異なりますが、それぞれに工夫された内容で、どうすれば支援学校の生徒も本校生徒も全員が楽しめるかということを考えた企画でした。

本校生徒は、準備の段階から支援学校の生徒のことを考えながら取り組んでいたこともあってか、とっさの状況の変化にもていねいに対応

できる姿がありました。こういう交流は重ねていくことによってわかること、学べることが多々あります。今回の取組で本校生徒がどんなことに気づき成長できたのか、これからの生活の中にその姿を見つけていきたいと思っています。

仕上げる

6 月 22・23 日は阿蘇郡市中体連夏季大会、7 月 27 日は県吹奏楽コンクールが予定されており、それぞれの部活動（社会体育の水泳やバドミントンも含む）が最後の仕上げに入っています。数年前から県内各校で部活動休止日を設定するようにはなっていますが、それでも各部活動担当者から提出される今月の活動計画表を見てみると、土日の遠征や練習計画がいつもより多めです。生徒はもちろんですが、担当者にとっても自分の（家族との）時間を割いてのことです。このことはご家庭の皆さん方にとっても同様であり、仕事等を調整されての対応だと思っています。それぞれが精一杯のエネルギーを費やす総がかりでの仕上げです。そこに込められた思いは、生徒に最高の場で最高の試合を、演奏をしてほしいということだけです。